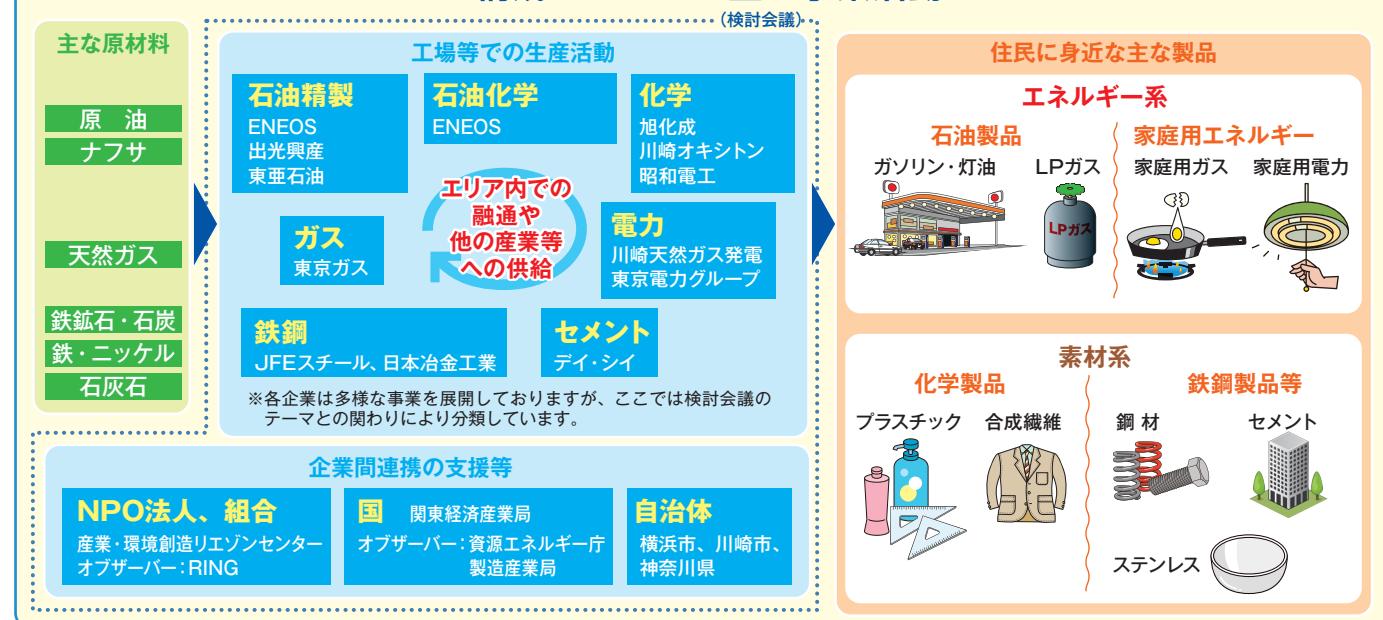


京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議について

構成メンバー（令和3年7月現在）

メンバー	ENEOS(株)、旭化成(株)、川崎オキシトン(株)、川崎天然ガス発電(株)、JFEスチール(株)、出光興産(株)、昭和電工(株)、(株)デイ・シイ、東亜石油(株)、東京ガス(株)、東京電力グループ、日本冶金工業(株)、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、経済産業省関東経済産業局、神奈川県、横浜市、川崎市
オブザーバー	経済産業省資源エネルギー庁、経済産業省製造産業局素材産業課、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)

構成メンバーの主な事業活動



年度	検討会議の活動	京浜臨海部コンビナートに関わる主な動き
H19	・検討会議発足（20.1.23） ・全体会議の開催2回	
H20	・全体会議の開催3回 ・部会の活動（パイプライン活用、石油残渣からのDME製造）	・川崎天然ガス発電所が運転開始
H21	・全体会議の開催3回 ・部会の活動（パイプライン活用）	・川崎スチームネット㈱により、発電で利用した蒸気を近隣工場に供給する取組み開始 ・扇島パワーステーション（発電所）（東京ガス㈱と旧昭和シェル石油㈱の共同出資）が運転開始
H22	・全体会議の開催3回 ・部会の活動（高経年化設備の安全評価手法） ・連携テーマ抽出のためのブレインストーミング ・勉強会（LNG冷熱活用、水素活用）	
H23	・全体会議の開催4回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化、跡地・遊休配管活用、LNG冷熱活用、水素活用） ・川崎国際環境技術展への出展 ・報告書「京浜スマートコンビナートの構築に向けて」とりまとめ	・東亜石油㈱が京浜製油所扇町工場の操業を終了し、水江工場に機能集約
H24	・全体会議の開催2回 ・ワーキンググループの活動（水素活用、跡地・遊休配管活用、扇町エリア） ・川崎国際環境技術展への出展	・旧東燃ゼネラル石油㈱と旧JX日鉄日石エネルギー㈱による「企業間連携を通じた水素の有効活用」の取組みの開始 ・旧東燃ゼネラル石油㈱と旧昭和シェル石油㈱の石油製品供給体制に関する協業について発表
H25	・全体会議の開催4回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化、LNG冷熱活用） ・川崎国際環境技術展への出展	・川崎臨海部水素ネットワーク協議会の設立
H26	・全体会議の開催2回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化、LNG冷熱活用） ・川崎国際環境技術展への出展	
H27	・全体会議の開催3回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化、LNG冷熱活用） ・川崎国際環境技術展への出展	
H28	・全体会議の開催3回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化） ・川崎コンビナート地域における規制緩和に向けた中間報告を川崎市に提出 ・川崎コンビナート地域における規制緩和に向けた要望書を国に提出 ・川崎国際環境技術展への出展	・川崎市「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」が「川崎臨海部活性化推進協議会」に名称変更 ・川崎市「臨海部ビジョン」の策定
H29	・全体会議の開催2回 ・ワーキンググループの活動（企業主導型保育所事業活用共同保育所設置） ・川崎国際環境技術展への出展	・旧JXエネルギー㈱と旧東燃ゼネラル石油㈱が合併し、JXTGエネルギー㈱に商号変更 ・川崎市「臨海部ビジョン」の策定
H30	・全体会議の開催2回 ・ワーキンググループの活動（ユーティリティ共有化、LNG冷熱活用、企業主導型保育所事業活用共同保育所設置）	・川崎市「川崎臨海部再生リエゾン推進協議会」が「川崎臨海部活性化推進協議会」に名称変更 ・横浜市「京浜臨海部再編整備マスターplan」改定
R1	・全体会議の開催3回 ・ワーキンググループの活動（企業主導型保育所）	・昭和シェル石油㈱と出光興産㈱は経営統合し、出光興産㈱に商号変更
R2	・全体会議の開催3回 ・ワーキンググループの活動（ドローン飛行計画書検討）	・JXTGエネルギー㈱がENEOS㈱に商号変更

（令和3年10月現在）

京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 事務局

お問い合わせ先

神奈川県政策局自治振興部地域政策課
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
tel.045-210-3255 fax.045-210-8837

川崎市経済労働局国際経済推進室
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階
tel.044-200-2335 fax.044-200-3920